

うけな紀念會を大瀨のみを以てし
瀨名の鬼伴ちまゝいしをのゝのこを
まゝ久一時のまゝいしを瀨名月ら一編
妻まゆかかゝ一編ふち愛おけまゆ
の

一 村に思ひ沈み人妻の押埋ま中石

おとく焼事二平日金乞何とれ多ねる
新書新川村に沈み人妻の押埋ま
浦の川筋は色通して形くゆあり
毎夜くの事おとく寺に綾宮降
おとくをいしをいしを供養一遊を
後つとひ止ぬ